

特定健康診査・特定保健指導

動 向

医療制度改革において、平成20年4月から施工された特定健康診査および特定保健指導は6年目を向かえ第2期に入った。特定健康診査の実施数は被保険者で109,589人。被扶養者で3,954人であった。また、契約体系でみると個別契約が107,269人、集合契約が6,274人であり、総人数は113,543人であった。メタボリックシンドロームの判定結果でみると基準該当が16,070人（14.2%）、予備軍該当が13,092人（11.5%）、非該当が84,282人（74.2%）であった。特定保健指導については37団体と契約し動機付け支援199人、積極的支援415人、計614人を実施した。当協会では保健指導サービスの品質管理に関する方針を定め、高質なサービスの提供を目指している。

特定健康診査

対 応

平成20年度から実施されている特定健康診査は、労働安全衛生法に基づく一般健康診断とは異なるため、特に以下の点について対応を行っている。

① 受診票

約8割が労働安全衛生法に基づく一般健康診断とあわせて実施されるため、両方の健診に対応できる受診票を作成、この際、特定健診対象者のみに、定められた標準的な質問項目が出力される。

② 結果通知書

一般健康診断とあわせて実施する受診者に対し、共通の個人結果通知書を作成し、特定健診受診者には診断等の欄に、特定健診実施に当たってのインフォメーションコメントを出力、裏面には特定健康診査の説明を印刷。また、特定健康診査の結果に必須の「メタボリックシンドローム判定」を出力し、要望に応じて「特定保健指導階層化レベル」の出力も可能である。

実施5年度目までの結果

総実施件数は約11万3千5百件と微減、一般健康診断との併用が多いことから、前年度に引き続き約95%が各医療保険者との個別契約であった。このうち前年同様、約8割が組合健保で、受診者のうち被保険者が約96.5%であった（表1～4）。メタボ判定では該当が男性では約20%、女性は約4%とほぼ変わらず、非該当も男性で約65%、女性は約92%で昨年とほぼ同じであった（表5）。

保健指導の階層化では積極的支援が男性17.1%（平成24年度17.3%）わずかに減少し、女性は昨年度とほぼかわらず3.1%（同3.2%）が該当者であった（表6）。

このうち血圧、脂質、血糖のメタボ項目のみによる該当者は78.2%（平成24年度は78.6%）、メタボ項目のみでは該当しないが、喫煙習慣があることにより、積極的支援の該当者となったのは21.8%（同

21.4%）であった。改善意欲および利用意思結果では全体では29.6%（平成24年度29.4%）で「改善するつもりはない」の回答であったが、「改善するつもり（おおむね6ヶ月以内）」、「改善するつもり（おおむね1ヶ月以内）」をあわせると43.8%（平成24年度44.1%）と前年度とほぼ同じ割合で、今後の特定保健指導による健康意識の変容が望まれる結果となった。

特定保健指導

平成20年度から開始した特定保健指導は、第二期に入り、事業運営は安定してきた。契約団体数の増減はあるが、平成25年度は37団体である。当会の特徴は対象者の9割以上が労働者であることと、保健指導の品質管理を委員会に位置づけて実施していることである。

1 実施状況

初回面談が614人で、内訳は、積極的支援415人、動機づけ支援199人である。（表1 平成26年8月現在）

特定保健指導は健保事業であるが、当会では長年の産業看護の経験を活かし、事業場との協力関係の中、各団体の計画を立案し実施している。例えば、定期健康診断時面談に情報提供と動機づけ支援をする仕組みをつくり、当日の特定保健指導を促進している団体もある。（表2）また、健保と事業場の連携が密接な団体では、標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】でも重要視している、非肥満者や治療中の者、40歳以下だが階層化の基準に該当する者に対象拡大をし、健康運動指導士による運動指導を取り入れる等、より先進的で予防を重視した取組を実施している団体もある。

しかし、保健指導実施者のマンパワー不足が恒常化しており、同時期に実施することが困難な状況が続いているため、顧客の要望に十分対応できないことが課題である。

2 評価への取り組み

過去5年間の実績評価では、-0.1kg以上体重減少していた方の割合は図1、図2のとおりで積極的支援実施者の方が動機づけ支援実施者より減少者割合が高かった。また、血液データの改善傾向が観察できた。保健指導内容については国の方針に沿って禁煙指導に力を入れた。今後、その評価も検討していきたい。

3 保健指導品質管理への取り組み

平成21年に保健指導品質管理委員会を立ち上げ、活動を継続しており、実施前の渉外から評価・改善提案までを保健指導と捉えの質の見直しや改善に努力している。

関係の集計表は119頁に掲載